



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債 利回り	WTI 原油先物 (ドル/バレル)	ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万 BTU)
	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り			
2020年12月31日	812.30	11.11%	7,759.35	1.53%	20,258.86	3.36%	0.91%	48.52	2.54
2021年7月30日	1,125.12	7.79%	9,155.21	1.37%	25,657.05	2.71%	1.22%	73.95	3.91
2021年8月31日	1,099.08	8.05%	9,433.58	1.34%	26,191.56	2.67%	1.31%	68.50	4.38
前月比	-2.3%	0.26%	3.0%	-0.03%	2.1%	-0.04%	0.09%	-7.4%	11.8%
年初来	35.3%	-3.06%	21.6%	-0.19%	29.3%	-0.69%	0.40%	41.2%	72.4%
前年比	54.8%	-4.55%	31.2%	-0.33%	36.1%	-0.79%	0.60%	60.8%	66.4%

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

8月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、下落しました。

上旬は、新型コロナウイルスのデルタ型の感染拡大が続く中、世界景気の回復が遅れ、エネルギー需要の伸び悩み可能性が意識されたことなどから、原油価格が軟調となる中、MLP市場は下落しました。

中旬に入り、MLP市場は持ち直す場面も見られましたが、デルタ型新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、エネルギー需要停滞への懸念が広がる中、売りが次第に優勢となりました。

下旬は、デルタ型新型コロナウイルス感染拡大に対する過度の警戒感が後退したことなどから、市場全体に安心感が広がり、MLP市場は上昇しました。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2019年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日～2021年8月31日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

米国MLP・中流エネルギー企業の 2021年4-6月期の決算状況

- 8月は、多くの米国MLP・中流エネルギー企業が2021年4-6月期の決算を発表（右表参照）。多くのMLP・中流エネルギー企業の利益（調整後EBITDA）が、市場予想並みもしくは予想を上回る。
- （8月5日）パイプライン等の中流資産の所有、運営、開発を行うBP Midstream Partners LP（BPMP）は親会社のBP社より完全子会社化の提案を受ける。
- （8月11日）米バイデン政権は石油輸出国機構（OPEC）の加盟・非加盟国で構成される「OPECプラス」に対して原油増産を求める声明を出す。

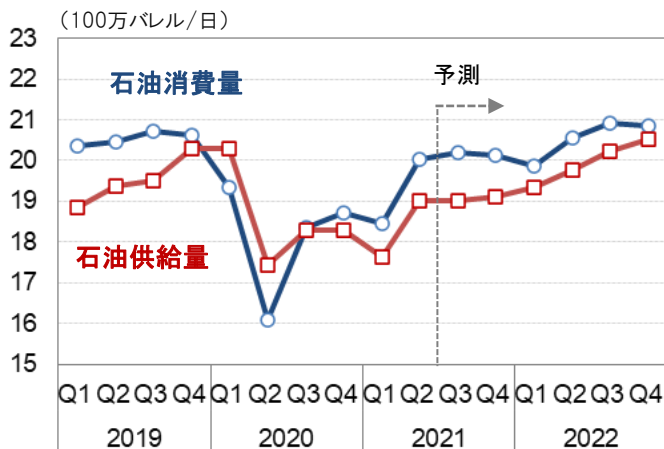
銘柄名	公表日	調整後EBITDA (億米ドル)	前年比	市場 予想 対比
Williams Company	8月2日	13.2	+6.2%	概ね一致
Plains All American Pipeline LP	8月3日	5.8	+10.5%	↗
Energy Transfer LP	8月3日	26.2	+7.3%	概ね一致
ONEOK	8月3日	8.0	+50.1%	↗
EnLink Midstream LLC	8月3日	2.6	+0.9%	↗
Holly Energy Partners LP	8月3日	0.9	+10.1%	概ね一致
Genesis Energy LP	8月4日	1.4	+7.8%	↘
MPLX LP	8月4日	13.7	+12.0%	↗
DCP Midstream LP	8月4日	3.3	+7.1%	↗
Cheniere Energy	8月5日	10.2	-26.6%	↘
Western Midstream Partners LP	8月9日	4.9	+10.8%	↗

（出所）各種報道等 ※2021年8月末時点

《米国のエネルギー動向と中流エネルギー企業の財務状況》

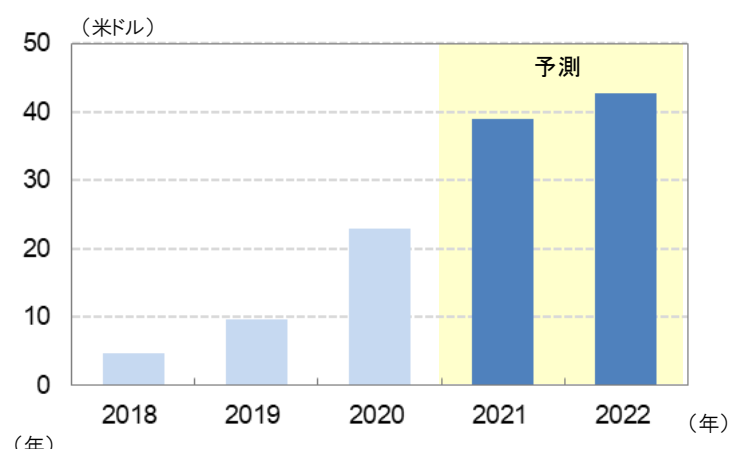
- 足元では、世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が見られており、経済やエネルギー需要への逆風になるとの懸念が市場で高まっていますが、米エネルギー情報局（EIA）の見通しでは、米国の石油消費量は2022年後半にかけて緩やかに増加することが予想されています。エネルギー需要の拡大は供給量の増加につながる事が期待されるため、中流エネルギー企業にとって追い風になるとみられています。
- 中流エネルギー企業のフリーキャッシュフローは、これまでの大規模投資が一巡したこと等から大幅に増加することが予想されており、こうしたファンダメンタルズの見直しがMLP市場の上昇に繋がることが期待されます。

米国の石油需給の実績と見通し



（出所）米エネルギー情報局（EIA）（期間）実績：2019年1Q～2021年2Q、
予測：2021年3Q～2022年4Q
※2021年8月時点

中流エネルギー企業の一株当たりフリーキャッシュフロー



（出所）ブルームバーグ（期間）2018年～2022年
※中流エネルギー企業は中流MLP銘柄を含むアトランティック中流エネルギー指数
※予測は2021年9月6時点の市場予想

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることもあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。